

守る

～WYSH教育便り～

平成31年2月12日
内野中学校 2年生号

1月30日から2月8日まで、各学級で「性情報との付き合い方」と「友人関係で大切なこと」について学習しました。

1時間目の内容

- ネット情報に関するトラブルについて資料を通して問題点を考え、性犯罪の危険性を理解する。
- ・ネットがきっかけでトラブルや犯罪に巻き込まれるのはなぜだろうか？

資料：[スマホの過度な使用による日常生活への支障・SNSバトンネット
で知り合った性犯罪被害]



1時間目：ネット情報・性犯罪から自分を守る

友人の間だけで回した内容だったのに



無料通話アプリで、学校の友人からバトンが回ってきました。質問内容を読み、Jさんは、軽い気持ちで名前や年齢、学校名などを答えました。

SNSでは趣味が合う良い人だったのに



♪ 今度のライブ、よかったら一緒に行かない？



この子、すごく話が合うしSNSでみんなに好かれてるしヤッター！嬉しい！

Hさんは、同じバンドのファンの女子高生とSNSでよく話をしていました。ある時「ライブのチケットが余分にあるから一緒に行こう！」と誘われました。

～総務省2018年インターネットトラブル事例集より～

【授業の感想の一部を紹介します】

- 直接会ったら絶対に言わないことでも、ネットを通すと他人が見ているという意識が薄くなってしまおうと思うので、軽い気持ちで情報を出さないようにするべきだと思った。
- 思春期の方は、新しいことや、楽しそうなことに気が引かれてしまうから、すぐに信頼してしまう時期だと思うので、これからは気を付けたいです。
- ネットは相手が見えなかったり分かんないから注意をはらって使う、とてもこわいなあ～と思ったので、しっかり自分のことを考えて守るということが大切だということが分かった。
- ネットで知り合った人が殺人や誘拐をしたという事件がたくさんあるので、自分も気を付け、友人が会うなどと言ったら止めてあげてあげたいです。

○その情報を過信せず、判断力、見抜く力を養うことが大切になってくると思う。また、自分一人で抱えず、周りに言うことも必要だと思った。

○自分はSNSなど使わないので、やり始めたら気を付けようと思います。スマホのゲームやPS4などはチャットもあるので気を付けようと思いました。

スマホ依存が高いほど、「自尊心＝自分を大切に思う気持ち」が低くなり、スマホ使用時間と性経験を持っていることは相関関係にあります。

(全国高校生生活意識調査2013(社)全国高等学校PTA連合会)

この機会に再度危険性についてご家族で話し合みましょう。

17 18 19 の危険を回避するために

「ネットで知り合う人」とのやり取りに関して 多角的かつ真剣に考えてみましょう

SNSなどのコミュニティサイトを介したやり取りは 楽しさだけではなく、「危険」もいっぱい！

『出会い系サイト』が法律で規制されて以来、特殊なサイトではなく、SNSなどごく普通のコミュニティサイトでのやり取りがきっかけで被害にあう子供が増え続けています。物心つく前から身近にデジタル機器があった高校生以下の世代にとって、SNSによるコミュニケーションは「会って話す」ことや「電話で話す」と同じ感覚ですが、大きな違いは**相手を目と耳で確かめることができないこと**。趣味や話の合う人も、同世代の同性の仲良しも、優しく寄り添ってくれる年上の人も、画面から得られる文字情報・写真・動画が**真実とは限りません**。

「そんなことわかってる！」と言いますが、「フォローしてくれたのにフォローを返さないのは悪い」「DMをもらって無視するのは気まずい」と徐々に近づいてしまい、相手の思惑に引きずり込まれてしまうケースもあるのです。

心や体に生涯消えない深い傷を負うばかりか、生命にかかわるような凄惨な事件も起きています。被害は、SNSの使い方も判断力も比較的高いはずの高校生が最も多いことから「被害にあう人が特殊なだけ。自分は大丈夫」と思わないことが重要。取り返しのつかないことになる前に、SNSの使い方をいま一度見直しましょう。

※ DMは「ダイレクトメッセージ」。SNSの画面上ではなく、直接メッセージをやりとりすること。

自分を守るためにできること ①

まずは普段使うSNSの設定を確認！

- ◆ アカウントの公開・非公開
- ◆ 自分の投稿を読んでいい人の範囲設定
- ◆ 自分がDMを受け取れる人の範囲設定
- ◆ 自分の画像へのタグ付けに関する許可設定

ほか、プライバシーやセキュリティに関する設定を確認しましょう。もしもアカウントが複数あるなら、それぞれの用途に合う設定を行い、使い分けの徹底を！（機種変更等の際は設定を要確認）

自分を守るためにできること ②

できるだけリアルな相談と発散を！

- ◆ イライラしたときは、スマホを置いて深呼吸
- ◆ グチは声に出して言う（人に話すのも有効）
- ◆ 気持ちを（スマホではなく）ノートにひたすら書く
- ◆ 好きなことをして、気分を変える、発散する
- ◆ ____時を回ったら、それ以上考えずにまず寝るなど、自分なりの“アナログな解消法”をいくつか考えておきましょう。そして、何かあったらネットに頼る前に、家族や先生やリアルな友人に相談を。

自分を守るためにできること ③

どうしてもネットでのやり取りをしたいときのために「ここまで！」を決める

ネットに気持ちをぶつけても、現実に戻った途端にぶり返す可能性が。それでもSNSに寄りかかりたいと思うなら、弱った心に付け込まれないよう、これ以上踏み込まない限界と対処法を決めておきましょう。

- ☑ 普段いつも発信しているアカウントには、**深刻なこと、プライバシーに関することは、書き込まない**
- ☑ SNSで話をした人から急にDMが届いたら「ありがとう、あとはSNSで！」と返すなど、**DMを断ち切る**
- ☑ 時間が経つほど断りづらい！イヤなこと、不安なことは「どうしよう…」と迷ったら、**すぐ&ハッキリ断る**
- ☑ しつこく誘われたり脅されたりしても、**決して応じず、独りで抱え込まず、身近な大人に相談する**
- ☑ 周囲に相談しづらいとき、相談できる人がいないときは、**警察や専門の窓口**に相談する勇気を持つ※

※下記『各種相談窓口』（内閣府：ネットの危険から子供を守るために）をご参照ください。

http://www8.cao.go.jp/youth/kankyau/internet_use/soudan.html

2時間目：友人関係で大切なこと・お互いの人格を守る

- 性的関心や欲求について理解し、班での意見交流を通して、お互いの人格を尊重し合う友人関係について考える。
資料：[デートDV 事例]

言葉での暴力・精神的暴力

- *バカにする
- *「デブ・ブス」などからだのことを言う
- *繰り返し批判したり、否定したりする
- *「そんなことも知らないの?」「普通そうだよ!」などと言って決めつける
- *すぐ不機嫌になり、それを相手のせいにする
- *無視する
- *「自殺する」と言っておどす
- *ふたりのことを、1人で勝手に決める
- *「秘密をばらす」とおどす
- *怒って物に当たったり壊したりする
- *なぐるまねをしておどす
- *友だちの前で恥ずかしい思いをさせるなど

いろいろな暴力って、どんなこと?

「暴力」というと、なぐったりけったりするからだへの暴力を想像してしまうかな。でも、からだへの暴力だけが暴力ではないんだよ。言葉での暴力や、精神的暴力や強い束縛、性的な暴力、経済的な暴力などいろいろな暴力があるんだ。若い人たちの間では、スマホを使って束縛することが多いようだけれど、それはデートDVのはじまりかもしれない。

ねえこのLINE誰?



男子?
女子?

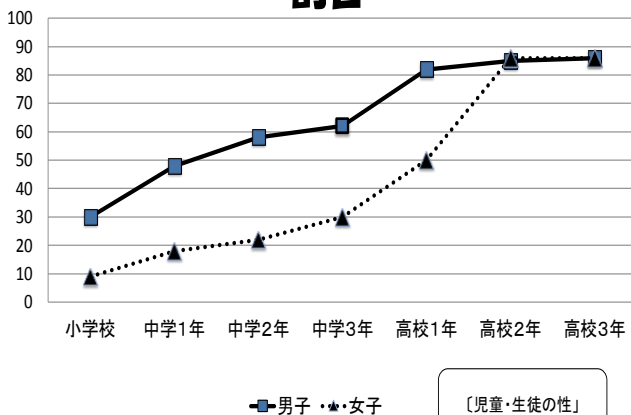
強い束縛

- *スマホの着信やLINEを勝手にチェックしたり、連絡先を消したりする
- *友人との付き合いをさせない・制限する
- *しつこくLINEして相手の行動をチェックする
- *すぐ返信しないと怒る
- *服装を自分好みにさせるなど

～宮城県人権啓発活動ネットワーク協議会

資料（中学生用）～

好きな人と親しくなりたいと思う人の割合



【授業の感想の一部を紹介します】

- 無理だなんて思ったらむりやりその関係を続けなくてもいいし、続けるんだったら相手を信じて続けていけばいいと思った。もしそういう人ができたら信頼していたい。
- やっぱり友人でも秘密はあるから、距離感は大それたと思った。これからたくさんの人と出会うと思うから、自分も距離感を保ってがんばりたい。

中学生になると性的な関心が高まりますが、その対象には個人差があり、異性だけでない場合もあります。

LGBTは7.6%（2015年電通ダイバーシティラボ調べ）で13人に1人の割合です。人それぞれ姿や価値観、感情などが違うように人間の性（セクシュアリティ）も男性・女性の2つに分けられるほど単純なものではありません。自分の性をどのように認識するか、どの性別の人を好きになるかは、人それぞれ違います。この機会に正しい知識を持ち、性の多様性を理解しましょう。

- DVにはいろいろな種類があることを知った。束縛をしてしまう人は束縛をしないと
いけないようなきっかけ理由があるんだと思う。でもそれが原因で死んでしまうか
もしれないから相手の気持ちをほんの少しでもいいから感じてほしいと思った。
- ちょっとした事がDVになったりするのだと分かりました。二人の間や友達関係だ
からといって秘密があるのはダメというのはおかしい。誰だっかくしたい事の一
つや二つあるのだから、理解する気持ちが大切だと思いました。
- もっと信じ合っていたら束縛はしなくてもいいんだから、信じ合う事が大切だと思
う。みんなで楽しくしていきたい！
- 自分と相手が考えていることが同じとは限らないので、自分の考えを相手に押しつ
けないようにすることが大切だと感じた。
- 相手の気持ちをしっかりと考えるべき。プライバシーをしっかりと尊重する。言葉
の暴力など、デートDVに気を付けて生きていきたいと思った。
- 自分の意見をはっきりと相手に言うことが大切だと思った。でも、自分の意見を言
いすぎて相手の意見を聞かないのはだめだと思う。
- ドラマでもLGBTの事をみたけど、女が女を好きでも男が男を好きでもその人の
自由だと思った。
- どんな人とも、ちょうど良い距離を保つ。自分の立場におきかえて考える。プライ
ベートにふみこみすぎない。この3つが大切だと思う。
- 相手の人と付き合っても、少し距離をおいて自分の時間（プライベート）をしっか
り分けた方がいいと思ったし、束縛も暴力になるからしないし、されないようにし
ようと思った。
- LGBTという性的マイノリティの人がいても、1人1人の個性で、LGBTとい
うだけで差別するのはよくないと思った。

思春期は、友達とのかかわりを学んでいくレッスン期です。日々失敗を繰り返しながら学び、それが将来一対一の交際をする時の基礎となります。

今日は明日につながっています。

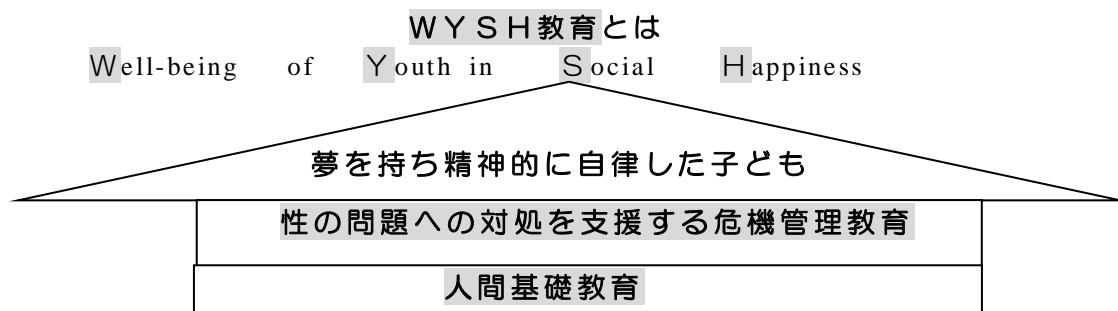
未来の空の下

どこかにいる

誰かにいつか出会うまで

あなたはどんな自分になりたいですか？

皆さんが成長していくのが、今から楽しみです。



丁寧な人間関係の大切さの気づきを目指す「人間基礎教育」を土台と考えその上に直面する性の問題への対処を支援する「危機管理教育」を行う二階建ての教育プログラムです。夢を持ち、精神的に自律した子どもを育成することを目標にしています。